

田富小だより

新型コロナウイルスの流行が続き、さらに学校の臨時休業が延長されることになりました。入学式も延期されることになりました。一日も早く新型コロナウイルスの流行が終息し、子供たちの元気な声が学校に戻ってくる日が来ることを願うばかりです。

この休業を通じて、あらためて「自立してたくましく生き抜く資質能力」を育成することの大切さを痛感しました。私たち教員の手を離れたとき、どれだけ子供たちが自分で学習できるように育てていたのかそれが問われているのだと思いました。学校教育の目標は、子ども達を「生涯を通じて学び続ける人」に育てることです。そのためには、知的好奇心と自分で学習をする力を育てる必要があります。田富小学校で取り組んでいる「やってみるじゃんノート」による自学のねらいもここにあります。子供たちへのメッセージに書いたように、今こそ自学で培った力を発揮する時だと思えます。2年生の児童が自学ノートに熱心に取り組んでいる、3年生の児童がその日の計画をしっかりと立てて学習に取り組んでいるという話を聞きました。本当にうれしく思います。御家庭でもその日にやったことを聞いてあげてください。

学校の再開は、6月1日からになります。保護者のみなさんの中には、学習の進度を心配されている方もいらっしゃると思います。しかし、安心してください。田富小学校の子ども達のやる気と教員の指導力があれば、遅れは取り戻せます。スタートダッシュができるように、休業中も生活のリズムを崩さないように家庭では気を配ってください。子供、保護者、学校が力を合わせ、この困難を乗り越えていきましょう。

田富小学校が願う子どもの姿

【校訓】

明るく 直く すこやかに

【学校教育目標】

生きる力をもつ子ども 命を大切にする子ども 共に生きる子ども

「生きる力をもつ子ども」とは、自立してたくましく生き抜く資質能力をもつ子ども（自立）

「命を大切にする子ども」とは、自他を尊重しよりよく生きる資質能力をもつ子ども（共生）

「共に生きる子ども」とは、他のために働く資質能力をもつ子ども（奉仕・貢献）

※自立については、「生涯を通して学び続ける学習者としての自立」と

「独り立ちして生活できる生活者としての自立」の2つの自立を目指します。

【教職員の合言葉】

すべては 子ども達のために

※判断に迷った時は、「子どものためになるか」に立ち返って判断したいと思います。

私が出会った素敵な子ども達の姿

- ① 先日の日曜日の朝、近所のパン屋に買い物に行ったとき、私を見つけた5年生と3年生の姉妹が、駆け寄ってきてくれました。休業中の生活の様子を聞くと、「学校の課題は、もう終わりました。自学をがんばっています。」を笑顔で教えてくれました。

